

[今すぐ実践！省エネ手法]

学校で取り組める省エネ手法を紹介します。施設内での省エネ取組みの際にご活用下さい。

学校の節電チェックシート（夏季）

電力消費の多い機器の節電にご協力をお願いします。

項目	内容	建物全体に対する節電効果	実行チェック	日付
照明	可能な範囲で照明を間引きする。 （労働安全衛生規則基準値（精密作業300Lx、普通作業150Lx、粗な作業70Lx） 客室以外の照明を半分程度間引きした際の数値	7.2%		
	点灯方法や使用場所を工夫しながら、体育館の照明を1/4程度間引きした場合の数値	1.0%		
空調	教室、職員室等の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げる。 （右記の節電効果は室内温度を26℃から2℃上げた場合の数値） ※熱中症にご注意ください。	3.0%		
	使用していないエリア（教室、特別教室等）は空調を停止する。	4.0%		

メンテナンスや日々の節電にもご協力をお願いします。

項目	内容	実行チェック	日付
照明	従来型蛍光灯を、LED照明に交換する。（従来型蛍光灯から直管型LED照明に交換した場合、約50%消費電力を削減。）		
	体育館等で使われる水銀ランプを、LEDランプに交換する。（水銀ランプをLEDランプに交換した場合、約50%消費電力削減。）		
	窓際等自然採光部分は消灯する。		
空調	日中の日射を遮るために、ブラインド、カーテン、遮断フィルム、ひさし、すだれを活用する。		
	目詰まりしたフィルターを清掃する。		
	特別教室（音楽室、コンピューター室等）は連続利用を心がける。		
	空調機の節電機能（ピークデマンドカット機能等）を活用する。		
	排ガスによる放熱ロスを避けるため、ガス吸収式冷温水機について空気比の適正化を図る。		
OA機器	コピー機が複数台ある場合は、使用頻度に応じて稼働台数を減らす。		
コンセント動力	プールの水位調整のための給排水を少なくするよう工夫する。		
	プール用水のろ過フィルタを清掃する。		
	待機電力を削減する。（電子黒板やパソコン、テレビ等を使わない時にはプラグをコンセントから抜く。）		
	献立や調理の工夫により食器等を減らして食器洗浄機を使用する。		
	電気式給湯器、給茶機、エアタオル等のプラグを可能な範囲でコンセントから抜く。		
	ディスプレイの明るさを下げ、不要時は消灯する。		
	自動販売機の管理者の協力の下、冷却停止時間の延長や節電モードへの切り替え等を行う。		
その他	「クールビズ」を励行する。		
	手洗い等、水の流し放し、水の出しすぎに注意する。		
	節水こま、泡沫水洗を使用する。		

〔ご注意〕

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する目安です。
- ・空調についての節電効果は電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の下での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・節電を意識するあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。